

## 白馬村地域公共交通検討委員会 協議会議事録

日 時	平成 30 年 7 月 2 日 (月) 午後 1 時 30 分～	
開 催 場 所	白馬村役場 201.202 会議室	
委 員 長	藤本 元太	白馬村副村長
出 席 委 員	速水 政文 鈴木 均 岩瀬 隆 福島 洋次郎 松澤 孝行 高梨 光 津山 健次 遠藤 孝 風間 雅裕 上條 良民 薄井 浩章 柳沢 剛 井藤 太亮 高山 和良 横山 秋一 松澤 忠明 藤巻 孝之 ※敬称略・順不同	公募委員 走れ村バスの会 走れ村バスの会 一般財団法人白馬村観光局事務局長 社会福祉法人白馬村社会福祉協議会事務局長 一般社団法人 HAKUBVALLEY 索道事業者プロモーションボード代表 アルピコ交通株式会社白馬営業所長 有限会社白馬交通代表取締役社長 白馬観光タクシー株式会社代表取締役 アルプス第一交通株式会社代表取締役 アルピコタクシー株式会社大町支社長 長野県北アルプス地域振興局企画振興課課長 国土交通省北陸信越運輸局交通政策部交通企画課長 国土交通省北陸信越運輸局長野運輸局長 白馬村役場観光課課長 白馬村役場健康福祉課課長 大町市役所総務部情報交通課課長
事 務 局	渡邊 宏太 吉田 久夫 矢口 浩樹	白馬村総務課政策企画係 白馬村総務課長 白馬村総務課政策企画係長
会 議 次 第	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 白馬村地域公共交通会議会長あいさつ</li> <li>2. 委員自己紹介</li> <li>3. 会議の公開について</li> <li>4. 会議事項             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 委員長及び副委員長の選任</li> <li>(2) 会議資料の説明</li> </ol> </li> </ol> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本村の公共交通の現状について【資料 1】</li> <li>・地域公共交通網形成計画について【資料 2】</li> <li>・白馬村地域公共交通網形成計画の検討内容について【資料 3】</li> <li>・今後の検討スケジュールについて【資料 4】</li> <li>・アンケート調査について【資料 5】</li> <li>・その他</li> <li>・閉会</li> </ul>	

配布資料	○資料1：本村の公共交通の現状について ○資料2：地域公共交通網形成計画について ○資料3：白馬村地域公共交通網形成計画について ○資料4：今後の検討スケジュールについて ○資料5：アンケート調査について

発 言 者	発 言 内 容 等
事 務 局	<p>1. 白馬村地域公共交通会議会長（村長）あいさつ</p> <p>2. 委員自己紹介</p> <p>3. 会議の公開について</p> <p>4. 会議事項 （1）委員長及び副委員長の選任</p> <p>・委員長については、主催者である藤本副村長がふさわしいと考えますが、いかがでしょうか。</p> <p>（異議なし）</p>
事 務 局	<p>・それでは委員長より挨拶をお願いします。</p>
委 員 長	<p>・去年の8月から総務省より、地方創生担当として副村長をしています。その中で、交通問題というのは大きな問題として考えています。平成21年より地域公共交通会議が発足し10年程経過した中で、住民や観光客からの様々な交通課題が挙がってきています。高齢者や学生をはじめ白馬ならではの様々なニーズを持っています。そのため、白馬村の交通について今一度整理し、今回お集まりいただいた皆様のご協力を得ながら地域公共交通網形成計画の策定を目指したいと思っております。宜しくお願い致します。</p>
事 務 局	<p>・副委員長につきましては、事業者を代表して地域公共交通会議で副委員長を務められております風間委員にお願いしたいと思います。いかがでしょうか。</p> <p>（異議なし）</p>
事 務 局	<p>・それでは副委員長より挨拶をお願いします。</p>
風 間 委 員	<p>・この度副委員長となりました風間です。地域公共交通会議でも副会長をやっております。皆様のご協力のもと、スムーズな協議、さらには白馬村の地域公共交通網の検討を行えるよう努力したいと思います。</p> <p>（2）会議資料の説明</p> <p>・本村の公共交通の現状について【資料1】</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域公共交通網形成計画について【資料 2】</li> <li>・白馬村地域公共交通網形成計画の検討内容について【資料 3】</li> <li>・今後の検討スケジュールについて【資料 4】</li> <li>・アンケート調査について【資料 5】</li> </ul> <p>(事務局より資料 1 から 5 の説明)</p>
委 員 長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先ほど事務局の方から、地域公共交通網形成計画について説明がありましたが、国土交通省の井藤委員、高山委員（代理 宮本氏）の方で補足等あればお願いします。</li> </ul>
井 藤 委 員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スケジュールに関して、(6) 地域公共交通に関する事業計画の検討の項目において、具体的な検討を行うため時期が後ろ倒しになる可能性が高い。そのため、早めの作業進行を心がける必要がある。</li> </ul>
委 員 長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一年での計画策定ということもあり、非常にタイトなスケジュールであるためそのような対応が必要となるでしょう。</li> <li>・続いて事業者の方々の中で質問等ございますか。</li> </ul>
遠 藤 委 員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回の地域公共交通検討会を含め様々なところで、地域公共交通について協議は行われてきた経緯がある。しかし、具体的な変更や改善については見え辛い部分があり、今回の地域公共交通網形成計画では、いつ頃結果の反映というものができるのか。村民が一番期待しているのはそういった内容であると考ええる。また、アンケート等がどのような検討結果または実行案に行かされたのかや実行のための予算との関係についても何らかの形で明確に報告する必要がある。</li> </ul>
委 員 長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域公共交通網形成計画の策定にあたり、最終的には事業計画の策定も行うつもりです。そのため、今回の計画策定は一步踏み込んだものであり更に包括的な調査を踏まえた上で、公共交通の事業計画の策定を行っていきます。今回の調査を経て、最終的には形のある計画策定の検討を行うと考えています。</li> </ul>
速 水 委 員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スケジュールに関して、現在地域公共交通検討委員会を 5 回予定しているが項目の検討内容を十分に議論するには時間がかかり、作業等の実施は本当に可能なのだろうか。また、スケジュールの延期は可能なのだろうか。</li> </ul>
事 務 局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現時点では、提示させていただいたスケジュールでの検討を予定しています。アンケートについては、十分な期間を持って提示することはできませんでしたが、見識者である高瀬先生の監修のもとアンケート内容の作成を行ってまいり</li> </ul>

	<p>ました。また、とりまとめ等の作業については業者に委託しているため、スケジュール的な問題はありません。</p>
速水委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的にはスケジュールとアンケート内容に関しての変更は考えていないとのことで、次段階の協議として、限られた協議回数の中でどのような内容について協議を行えばよいのか。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケートでは、まとめ方に配慮し事前配布も行うことで十分な協議が行えるように致します。</li> </ul>
鈴木委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケートの内容を見ると、既存の公共交通の展開を前提としている。このアンケートから見えない部分があるのではないだろうか。既存の交通体系に加えて村民が望んでいる交通体系を吸い上げる設問は考えられないだろうか。</li> <li>・国交省の手引きより、ニーズの吸い上げの手法としてアンケートだけでなく、ヒアリングや乗降調査が挙げられている。ヒアリングと乗降調査による調査は検討されないのだろうか。</li> <li>・観光客に対しての調査は以前から行われていたと思うが、直接観光客の生の声を反映したものはあるのだろうか。直接ヒアリングによるニーズの把握は検討しないのだろうか。</li> <li>・委員会の構成として、女性の委員がいないのはおかしいのではないか。学生や高齢者等の送迎を行うのはお母さんである場合が多いため、女性の委員は必要ではないか。また、教育分野からの委員の選任が必要ではないか。他自治体を見ても、PTAや校長先生の選任が散見される。是非検討してほしい。</li> <li>・現存のデマンド交通に関して、様々の要望が挙がっているため、早急の対応をお願いしたい。</li> </ul>
委員長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存の公共交通ありきのアンケートとおっしゃっていますが、設問の中では自転車や徒歩など、既存の公共交通以外についても言及しているため、既存の公共交通ありきのアンケートだとは思えません。</li> <li>・アンケート以外のニーズ把握についてですが、事務局からの説明があったように高齢者に対しては直接ヒアリングを行う予定となっております。乗降調査につきましては、各交通事業者から運行状況のデータ提供をお願いしている所です。</li> <li>・アンケート調査等で女性の意見を聴取することができるため、女性の委員はいませんが、問題はないと考えています。</li> <li>・デマンド交通に関して、交通福祉課の中でどのような動きがあるか説明願えますでしょうか。</li> </ul>
松澤委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康福祉課の方でもアンケートを実施し、利用者のニーズの把握に努めてい</li> </ul>

高 梨 委 員	<p>るところである。その後、事業者との協議を行い早急な対応をしていきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在索道会社は14社あり、各索道会社がスキー場から様々な経路で送迎を行っていた。それを「毛細血管」と呼んでおり、利用者の取り合いのような構図であった。そのため、10か所あるスキー場で共通券を配布し、スキー場を循環するサークルバス3路線を設けた。村内には他にもスクールバスや路線バス、デマンドバスが存在しており、利用者にとってとても複雑な状況であると考え、より効率化できれば観光客に限らず需要を満たせると考えている。また、姉妹都市であるオーストリアのレツヒを訪れた際、バスの色によって村内循環とそうでないものに分けておりとても分かりやすい運行を行っていた。北米等の事例を見てもシンプルな運行体系であったので、白馬村でも可能なのではないかと考える。</li> <li>・我々が行ってきた試みがある。HVCというシャトルバスで白馬壁から八方のバスターミナルを経由し梅池ゴンドラまで経路があり多くの利用者を輸送している。白馬駅から八方までの間で観光客を含めて多くの需要があり、新規路線を組みこむことは収支的に難しかったため路線バスの1便を八方のバスターミナルから駅までの経路とした。すると一日1000人単位の乗車があった。これはスキー客を含め村民の方にも乗車できるものであったため、今回の検討の中でも観光客用の路線等を活用し村民の需要をカバーすることもできると考える。</li> </ul>
委 員 長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・津山委員のお考えございましたらお聞かせください。</li> </ul>
津 山 委 員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現状として、夏と冬に需要が集中している。冬でいうとスキーシャトルバスが村内を運行しており、夏冬ともに補助を貰いながらの運行である。収支的に難しい状況である。</li> </ul>
委 員 長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タクシー事業者よりご意見ありましたらお願いします</li> </ul>
風 間 副 委 員 長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・津山委員のいうとおり、夏と冬の需要集中は顕著である。その中の課題として、冬の海外観光客への対応として最大1時間もの間待たせてしまうことがあった。4,5年前は泊食分離における交通手段が無く食事をとれない観光客が出たこともあった。現在運行しているナイトシャトルの元気号はとても好評であったが、元気号の利用になれた外国人の特徴として、待ち時間が長いという不満が挙がり、タクシーを呼ぶ状況もある。タクシー業界も人不足が発生しており、需要と供給のバランスが取れていないように感じる。そういった場合には駅前で待機する車両を向かわせるのだが、そうすると駅から利用する方を大幅に待たせてしまい難しい状況にある。そのため、タクシー会社同士で協力して</li> </ul>

委員 長	<p>いたが、改善要請の声が各方面から上がってきた。</p> <p>そのため国交省と相談した結果、営業区域を北アルプス安曇野交通圏まで広げ安曇野のタクシー会社の協力を仰ぐことで対応するように検討中である。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・今回担当官として協力していただいた宮本委員より補足ありますでしょうか。</li> </ul>
高山 委員 (宮本代理)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・営業区域の考え方は、例えば白馬村に営業区域を持つ車両であれば、白馬村から白馬村外に降りる利用者や、その逆の利用は可能であるが、それ以外の運行はできない。営業区域を北アルプス安曇野交通圏に拡大する基本的なイメージとして、安曇野市の冬場は閑散としており、白馬村は夏場閑散しているということなので、双方を補完し効率の良い運行となるよう検討したものである</li> </ul>
鈴木 委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タクシーの運行において池田町から松川村、大町市から松川村など相互乗り入れをしている。白馬村でも大町病院への移動需要があるため、広域なネットワークの構築が必要であると考える。</li> <li>・個人用アンケート2ページ目、(4)の設問において、「買い物の頻度」の解釈は趣味や娯楽先での買い物頻度なのか、趣味や娯楽先への頻度なのか。</li> <li>・問8の文言として、「村内」として壁を作るのではなく広い範囲での公共交通に対する内容とした方がいいと考える。</li> <li>・最初に質問した内容に関して、確認したい。</li> </ul> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. アンケート以外の意向聴取方法として、高齢者へのヒアリング以外に、例えばワーキンググループの発足等の検討は行わないのか。</li> <li>2. 女性委員等の追加について、はいかがか。</li> </ol>
事 務 局	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ヒアリングについては今回民生委員を通した高齢者ヒアリングとアンケート調査における意向聴取を主に考えているため追加でのワーキンググループ等の開催予定はありません。</li> <li>2. 委員の追加につきまして、重要となる送り迎えをしているお母さん世代についてはアンケートにて意向聴取を実施するため、委員の追加の予定はありません。</li> </ol> <ul style="list-style-type: none"> <li>・(4)における買い物の頻度は、「趣味や娯楽先への頻度」と修正します</li> </ul>
委 員 長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問8の文言について、誤解の生まれにくい村外への外出も含まれるような表現に変更します。</li> <li>・時間になりましたので、本日の議事は終了とさせていただきます。</li> </ul>
事 務 局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その他</li> <li>・連絡事項があります。検討委員会のスケジュールとして次回は10月中旬を</li> </ul>

風間副委員長	<p>予定しています。詳細については再度連絡させていただきます。その際の資料につきましても、事前配布を致します。ご協力お願い致します。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・行政関係者以外の皆様につきましては、所定の口座あてに8月10日に報酬金を振り込ませていただきます。</li></ul> <p><b>7. 閉会</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・長時間にわたり、活発なご意見ありがとうございます。行政側には親切できめの細かいアンケート配布や協議進行等をお願いしたいと思います。以上をもちまして、第一回白馬村地域公共交通検討委員会を閉会とさせていただきます。</li></ul>
--------	---

以上